Creative Enzymes®

ネイティブクロストリジウム・テタニ テタノリシン

Cat. No. NATE-0693

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	テタノリシンは、クロストリジウム・テタニ（Clostridium tetani）細菌によって生成される毒素です。その機能は不明ですが、破傷風の病因に寄与していると考えられています。もう一つのC. tetani毒素であるテタノスパスミン（tetanospasmin）は、破傷風により明確に関連付けられています。テタノリシンは、コレステロールに結合する細胞溶解毒素（cytolysins）として知られるタンパク質毒素のファミリーに属します。細胞溶解毒素は、細胞質膜に孔を形成し、イオンや他の分子が細胞内に通過することを可能にします。テタノリシンの分子量は約55 kDaダルトンです。
用途	テタノリシンは、赤血球（RBC）の溶解孔の形成を分析するために使用されてきました。また、感染したRBCを透過させるためにも使用されています。
別名	テタノリシン

製品情報

由来	破傷風菌
形態	塩化ナトリウムと酢酸ナトリウムを含む凍結乾燥粉末
分子量	55 kDa
緩衝液	100 µlの無菌水で再構成すると、濃度は40 mMのリン酸ナトリウムバッファー（pH 7.2）中で1 µg/µlとなり、200 mMのNaClを含みます。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C